

## 奈良市防犯カメラ設置事業等に関する効果検証について

奈良市防犯カメラ設置事業において、街頭犯罪・交通犯罪等の被害防止を目的とし、犯罪抑止効果が見込まれる防犯カメラを、駅周辺、交通要衝地、観光地周辺、学校・通学路周辺を中心に、平成 29 年度から令和 6 年度にかけて合計 550 台設置したことから、効果検証を行う。また、地域活性化対策事業で設置した防犯カメラ（新斎苑関連、児童相談所関連）についても、危機管理課が維持管理し、防犯カメラ設置運用要領に則して同様に警察の犯罪捜査等に画像提供を行っていることから、効果検証の対象に含むものとする。なお、それ以外の防犯カメラについては対象としないものとする。

### 1 防犯カメラ設置の現状

令和 7 年 4 月 1 日時点

設置年度	設置台数 (防犯カメラ設置事業)	設置台数 (地域活性化対策事業)	累計設置 台数
平成 29 年度	107 台	—	107 台
平成 30 年度	70 台	—	177 台
令和元年度	30 台	—	207 台
令和 2 年度	93 台	6 台	306 台
令和 3 年度	—	17 台	323 台
令和 4 年度	200 台	—	523 台
令和 5 年度	—	—	523 台
令和 6 年度	50 台	—	573 台
合計	550 台	23 台	573 台

### 2 効果検証について

効果検証を行うにあたり、「人口の増減による刑法犯認知件数への影響」と「環境による刑法犯認知件数への影響」を考慮するため、**奈良市と奈良県の人口千人あたりの刑法犯認知件数の推移を比較**することで、防犯カメラによる犯罪抑止効果の検証を行う。

また、効果検証を行う防犯カメラの台数については、防犯カメラの設置時期が当該年度の後半である場合が多いこと、刑法犯認知件数が 1 月から 12 月の年間件数であることから、各暦年において運用中の台数（下記）を検証台数とする。

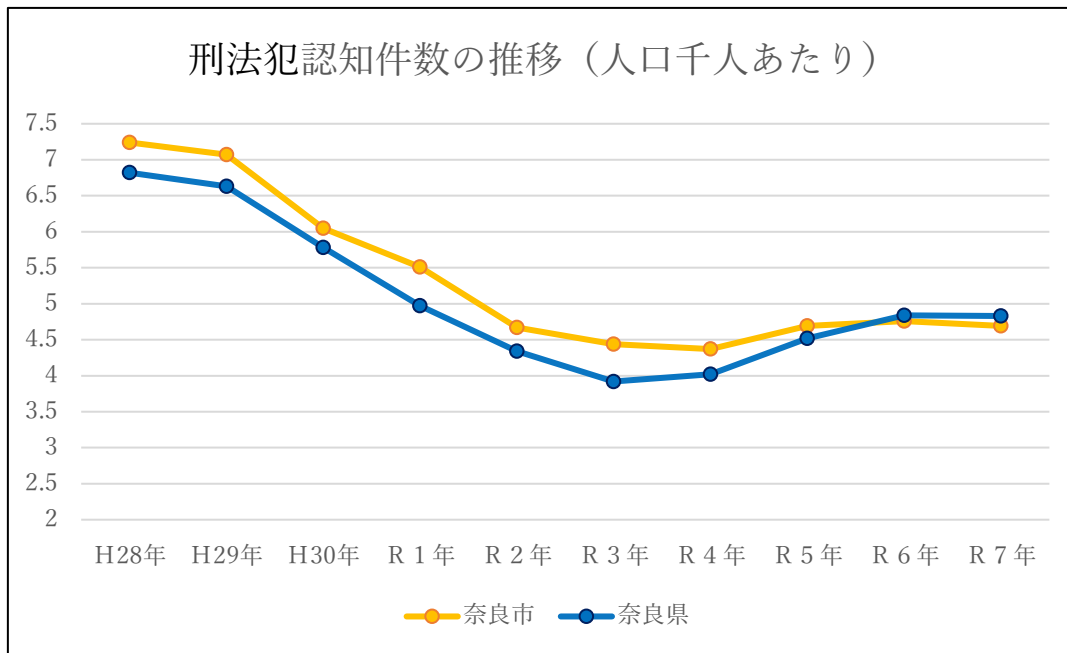
	H28 年	H29 年	H30 年	R 1 年	R 2 年	R 3 年	R 4 年	R 5 年	R 6 年	R 7 年
運用 台数	0 台	0 台	107 台	177 台	207 台	306 台	323 台	523 台	523 台	573 台

※運用台数＝設置の翌年

### 3 刑法犯認知件数の推移

刑法犯認知件数		H28年	H29年	H30年	R 1 年	R 2 年	R 3 年	R 4 年	R 5 年	R 6 年	R 7 年(暫定)
奈良市	件数	2,609	2,547	2,155	1,951	1,652	1,561	1,536	1,640	1,655	1,622
	千人あたり	7.24	7.07	6.05	5.51	4.67	4.44	4.37	4.69	4.76	4.69
奈良県	件数	9,307	9,052	7,764	6,616	5,774	5,148	5,251	5,852	6,217	6,164
	千人あたり	6.82	6.63	5.78	4.97	4.34	3.92	4.02	4.52	4.84	4.83
市一県(千人あたり)		0.42	0.44	0.27	0.54	0.33	0.52	0.35	0.17	-0.08	-0.14

※令和7年の数値は、1月から6月末までの実績を2倍したもの (奈良県警察本部データ)



奈良市と奈良県における平成28年から令和7年までの刑法犯認知件数及び人口千人あたりの刑法犯認知件数の推移をみると、令和3年及び令和4年にかけて減少しており、それ以降増加傾向にある。また、その数値を比較すると、奈良市の方が奈良県に比べ、令和3年以降の増加率が小さく、令和6年については、奈良市が奈良県の数値を下回っている。このことから、令和3年以降、奈良市において刑法犯の発生を抑止する要因があった可能性が考えられる。

次に、令和3年の奈良市の防犯カメラ運用状況をみると、市内で306台の防犯カメラを運用していた年である。また、令和5年以降、523台の防犯カメラを運用している環境となり、令和6年には奈良県の人口千人あたりの刑法犯認知件数を下回ったことから、防犯カメラを一定台数設置したことによる犯罪抑止効果があった可能性が考えられる。

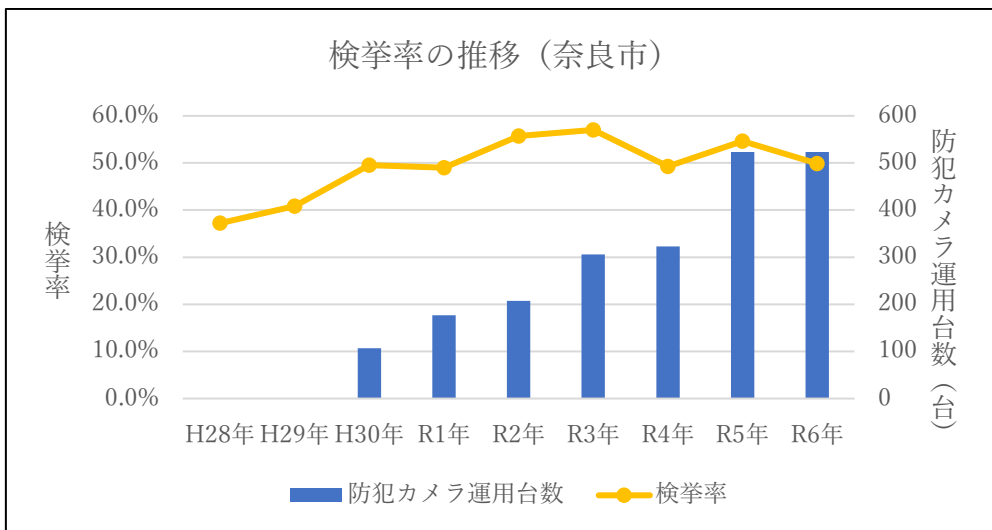
### 4 警察への防犯カメラ画像提供申請台数

年度	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
申請台数	7	250	348	606	1,265	820	1,298	1,581

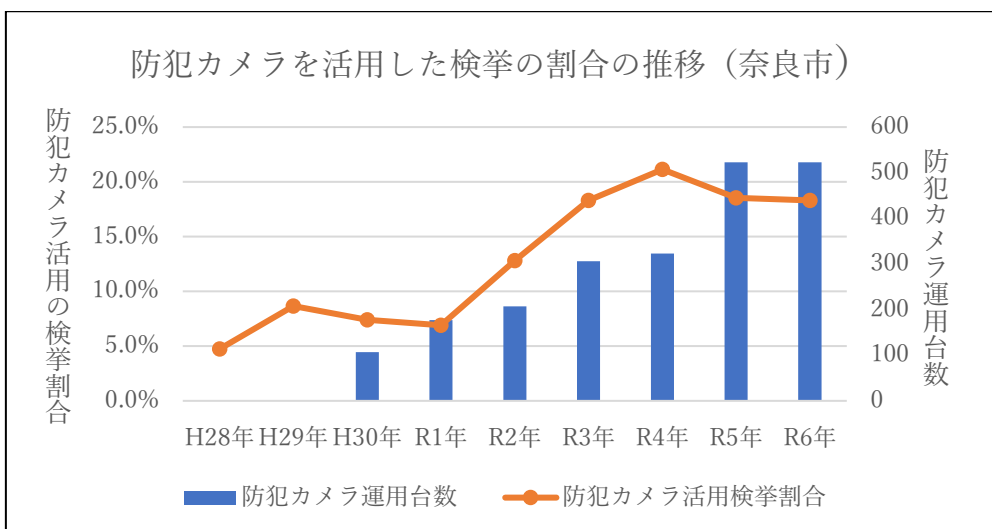
警察から防犯カメラ画像提供申請書を受理することで、警察へ防犯カメラの画像を提供しているが、犯罪捜査等を目的とした申請は増加傾向であることから、防犯カメラが警察の犯罪捜査等に活用されていることがわかる。

## 5 検挙率の推移

刑法犯における検挙件数及び検挙率										
		H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
奈良市	検挙件数	971	1,040	1,067	956	921	890	757	896	825
	検挙率	37.2%	40.8%	49.5%	49.0%	55.8%	57.0%	49.3%	54.6%	49.8%
(奈良県警察本部データ)										



刑法犯における防犯カメラを活用した検挙件数及び検挙の割合													
		H28年	H29年	H30年	R 1年	R 2年	R 3年	R 4年	R 5年	R 6年			
奈良市	検挙件数	46	90	79	66	118	163	160	166	151			
	割合	4.7%	8.7%	7.4%	6.9%	12.8%	18.3%	21.1%	18.5%	18.3%			
								(奈良県警察本部データ)					



奈良市内の刑法犯における検挙率と防犯カメラ運用台数の関係をみると、防犯カメラ運用前より運用後の方が、検挙率の向上がみられる。

次に、奈良市内の刑法犯の検挙件数に占める、防犯カメラ（奈良市以外が設置したものを含む）を活用した検挙件数の割合をみると、令和３年にかけて、約 18%まで上昇し、その後同程度の割合を維持している。このことから、奈良市が運用する防犯カメラが 300 台を超えた令和３年以降、犯罪等の捜査に防犯カメラを活用することで検挙率の向上に一定の効果を与えていることがわかる。

## 6 防犯カメラ活用の好事例

防犯カメラを実際に活用している警察捜査員に対し、防犯カメラの犯罪捜査等への活用についてアンケートを行ったところ、すべて「とても役立っている」との回答であった。

合わせて、防犯カメラの活用事例として、犯罪や交通事故等の捜査において、犯行状況や被疑者の人相着衣を特定するだけでなく、防犯カメラを活用したリレー捜査を行うことで被疑者の逃走経路の特定が可能となり、被疑者の検挙に至ったという回答も多くあった。また、行方不明者の捜索において、行方不明者の行動が防犯カメラに映っていたことから発見に至った事例もあり、警察捜査員から、奈良市は県内の他市町村と比較しても防犯カメラの設置台数が多いため、捜査に役立つといった声も多く寄せられた。

## 7 奈良市防犯カメラ設置事業の効果について（まとめ）

まず「犯罪抑止効果」については、犯罪抑止効果があると断言することはできないが、奈良市と奈良県の人口千人あたりの刑法犯認知件数の推移の比較から、犯罪抑止効果の可能性があると推察される。

また、「犯罪捜査への活用」については、警察への画像提供件数や防犯カメラを活用した検挙の割合、アンケート結果から、犯罪捜査等に非常に役立っていることが明らかになった。

以上のことから、今後継続して警察が必要とする箇所に防犯カメラの設置を進めていくことで、「犯罪抑止効果」及び「犯罪捜査等への貢献度」について今以上に効果が期待できると考えられる。